

一般社団法人日本宝石協会様とのご縁をいただき、山梨ジュエリーミュージアムでは《切手を愛でる—グリーティング切手「宝石・鉱石～自然の芸術～」発行に寄せて—》と題した企画展を6月20日(月)まで開催しています。

世界各国で発行された宝石や鉱物を扱った切手のコレクションパネルを中心に、グリーティング切手「宝石・鉱石～自然の芸術～」で採用された宝石なども併せて紹介する企画展示です。

世界の宝石・鉱物の切手パネルと、大多数の鉱物・ルースは、日本の宝石学の普及に大きく寄与した近山晶氏のコレクションからのセレクトとなります。

近山氏は山梨県甲府市に生まれ、県立宝石美術専門学校の講師も務めるなど、同専門学校の附属ミュージアムである当館にとっても非常に縁が深い人物でもあります。

切手はその小さなスペースにたくさんのメッセージが織り込まれています。

その国の文化や歴史、その時々々の時世も反映され、『小さな美術館』『小さな外交官』といわれているほどです。

世界各国の宝石・鉱物切手を眺めていると、その表現が如実に物語っていることを実感します。今回の展示では1950年代から90年代までの切手パネルを展示しており、その国で採掘された鉱物や当時の状況を垣間見ながら、時代も国も超えて小さな歴史旅行をしている気分に入ることができます。

だんだんと気候も穏やかになり行楽シーズンとしてもいい時期になりましたので、ぜひ山梨まで足をお運びいただき、貴重なコレクションの中から、選りすぐりの作品たちをご高覧ください幸いです。

山梨ジュエリーミュージアム 学芸員 若月千佳